

### I

#### ■出題の狙い

原始・古代の外交史を中心に出题しました。Aでは、中国の史書についてのリード文を示したうえで、紀元前1世紀頃の日本に関する知識から、7世紀の小野妹子の派遣にいたるまで、幅広い知識を問いました。Bでは、遣唐使についてのリード文を示し、航路の変遷や唐から帰国した僧侶、また日本と新羅の関係などについて基本的な知識を問いました。

#### ■採点講評

- 解答番号1 正答は③です。アリード文中に引用されている史料は、朝鮮半島北部の楽浪郡に定期的に朝貢を行っていたことを示す文である。帯方郡は3世紀初めに楽浪郡の南部を分割して新設された。イ「漢委奴国王」の印を与えた後漢の皇帝は光武帝。武帝は四郡を設置した前漢の皇帝。
- 解答番号2 正答は②です。①512年、③6世紀（538年もしくは552年）、④527年のことである。
- 解答番号3 正答は①です。②雄略天皇に比定されているのは、倭の五王の最後の武である。讚は仁徳・応神・履中天皇のいずれかといわれている。③江田船山古墳出土鉄刀には雄略天皇のことをさすとされる「獲加多支鹵大王」の文字が見られる。倭の五王の遣使を記しているのは『宋書』倭国伝。④倭王武は百済・新羅を含む「七国諸軍事安東大將軍倭国王」の称号を求めたが、実際には「六国諸軍事安東大將軍倭王」が認められた。高句麗・百済王に与えられた称号よりも低位であった。
- 解答番号4 正答は③です。X誤り。冊封関係ではなく対等関係を求めたことから、隋の皇帝煬帝の不興を買った。Y正しい。
- 解答番号5 正答は①です。カ630年の第1回の遣唐使として唐に渡ったのは犬上御田鍬。ケ日本への帰国が叶わず、唐の玄宗皇帝に仕えて、唐で亡くなったのは阿倍仲麻呂。
- 解答番号6 正答は①です。X Y正しい。
- 解答番号7 正答は③です。①玄昉と吉備真備を登用したのは橘諸兄。②鑑真ではなく菩提僊那。鑑真は大仏開眼供養後に来日した。④円仁と円珍が逆である。また、円仁派と円珍派が対立するのは、両者の死後のことである。
- 解答番号8 正答は④です。①唐・新羅の連合軍は倭に襲来していない。②遣新羅使が22回（675～779年）派遣された。③藤原仲麻呂は759年に新羅攻撃を計画したが、実現はしなかった。
- 解答番号9 正答は④です。サ遣唐使の航路は初め安全な北路をとったが、新羅との関係悪化を背景に、南路がとられるようになった。シ鴻臚館は平安京、難波、大宰府におかれた外国使節を接待するための施設。

## II

### ■出題の狙い

中世と近世の政治史を中心に出题しました。Aでは、鎌倉幕府成立についてのリード文を示し、幕府成立にいたるまでの歴史や、鎌倉幕府の機構についての知識など基本事項を問いました。Bでは、田沼政治についてのリード文を示し、田沼意次の財政再建策や蝦夷地開発など基本的な知識を問いました。また、田沼政治を風刺した川柳の読解問題も出題しました。

### ■採点講評

- 解答番号10 正答は⑫です。以仁王が出した平氏追討の令旨に呼応して、以仁王とともに強兵したのは源頼政。
- 解答番号11 正答は②です。平氏が西走の際に伴っていたのは平清盛の外孫である安徳天皇。
- 解答番号12 正答は⑥です。壇の浦の戦いは長門国、現在の山口県で行われた。
- 解答番号13 正答は③です。1192年に後白河法皇が死去したことから、源頼朝の征夷大將軍就任が実現した。
- 解答番号14 正答は⑨です。1219年に鶴岡八幡宮で2代將軍源頼家の遺児公暁によって、3代將軍源実朝が暗殺された。
- 解答番号15 正答は⑤です。1221年の承久の乱で幕府が朝廷に勝利し、幕府の朝廷に対する優位が確立した。
- 解答番号16 正答は④です。④Ⅱ1180年→Ⅲ1183年→Ⅰ1185年のことである。
- 解答番号17 正答は③です。①②三善康信と大江広元が逆である。④奥州総奉行は、源頼朝が1189年に藤原泰衡を滅ぼして奥州藤原氏が滅亡した後に設置された。
- 解答番号18 正答は③です。①水野忠邦の天保の改革の内容。田沼は株仲間の結成を奨励した。②浅間山の大噴火（1783年）ではなく、利根川の大氾濫（1786年）。④銅は輸出品。
- 解答番号19 正答は④です。X誤り。『海国兵談』ではなく『赤蝦夷風説考』。『海国兵談』は海防を説いた林子平の著書。Y誤り。間宮林蔵ではなく最上徳内。間宮林蔵は幕命を受けて樺太を探查し、間宮海峡を発見した。
- 解答番号20 正答は①です。②「上げ米」などから徳川吉宗の享保の改革、③「浜松」などから浜松藩主水野忠邦の天保の改革、④「ぶんぶ」などから文武を奨励した松平定信の寛政の改革を風刺したものである。
- 解答番号21 正答は②です。①寛永期の文化、③元禄文化、④化政文化の内容。

### III

#### ■出題の狙い

近現代の文化史を中心に出题しました。Aでは、明治初期の文明開化についてのリード文を示し、啓蒙思想家、廃仏毀釈などといった基本的な知識を問いました。Bでは、大正デモクラシーについてのリード文を示し、社会運動や、芸術・大衆文化・自然科学など、幅広く基本的な知識を問いました。

#### ■採点講評

- 解答番号22 正答は④です。①②中江兆民と中村正直が逆。③明六社の社長は森有礼。
- 解答番号23 正答は③です。①学制の公布（1872年）に先立って、1871年に文部省が新設された。②休みは日曜のみ。④クラークは札幌農学校を創設したのではなく、札幌農学校の教頭をつとめた人物。
- 解答番号24 正答は④です。ウ大阪朝日新聞は1889年に創刊された日刊紙。エ岩崎弥太郎は三菱の創業者。
- 解答番号25 正答は②です。X正しい。Y誤り。高山樗牛ではなく島地黙雷。高山樗牛は日本主義をとなえた評論家。
- 解答番号26 正答は①です。大教宣布の詔は1870年に出された、神道国教化の推進を明らかにした詔書。26聖人殉教は1596年に起こったキリスト教徒弾圧事件である。
- 解答番号27 正答は①です。②堺利彦・山川均が結成したのは日本共産党。日本農民組合を結成したのは杉山元治郎・賀川豊彦ら。③大杉栄ではなく西光万吉など。大杉栄は無政府主義者。④赤瀾会ではなく青鞥社。赤瀾会は山川菊栄らが結成した最初の女性社会主義団体。
- 解答番号28 正答は①です。ク与謝野晶子はロマン主義の作家。サ『中央公論』は総合雑誌。
- 解答番号29 正答は①です。②下村観山の代表作は『大原御幸』など。『生々流転』は横山大観の代表作。③津田左右吉ではなく西田幾多郎。津田左右吉は史料批判の方法で『古事記』『日本書紀』などを考証した歴史学者。④北里柴三郎ではなく野口英世。北里柴三郎は明治時代に破傷風菌の純粹培養に成功した。
- 解答番号30 正答は③です。X誤り。日活などの映画会社が設立され、多くの作品が制作された。Y正しい。

## IV

### ■出題の狙い

大仙陵古墳や奈良時代の律令の官制などといった原始や古代に関するものから、第二次世界大戦後の民主化政策にいたるまで、すべての時代と分野を出題範囲として、基本事項を幅広く出題しました。

### ■採点講評

- 解答番号31 正答は④です。①誉田御廟山古墳・②大仙陵古墳は大阪府にある、古墳時代中期の前方後円墳。③造山古墳は岡山県にある、古墳時代中期の前方後円墳。
- 解答番号32 正答は③です。X誤り。式部省ではなく、中務省。式部省は文官の人事・教育などを担った。Y正しい。
- 解答番号33 正答は④です。①村上天皇ではなく醍醐天皇。②菅原孝標の女ではなく藤原道綱の母。菅原孝標の女は13歳から老境にいたるまでを回想して『更級日記』を著した。③三大勅撰集が編まれたのは弘仁・貞観文化期。
- 解答番号34 正答は②です。①公案問答は臨濟宗の栄西、③専修念仏は浄土宗の法然、④題目唱和は日蓮宗の日蓮が重視したものである。
- 解答番号35 正答は①です。②町衆は京都、③年寄衆は平野、④年行司は博多の自治を担った。
- 解答番号36 正答は③です。①賤ヶ岳の戦いで討ったのは柴田勝家。明智光秀を討ったのは山崎の合戦。②石高を基準に軍役が課される石高制が確立した。貫高制は戦国大名の施策である。④文禄の役ではなく慶長の役。文禄の役は二度の朝鮮への出兵のうち一回目の出兵のこと。
- 解答番号37 正答は①です。②本多利明ではなく佐藤信淵。本多利明は『西域物語』『経世秘策』で開国交易を説いた。③本居宣長ではなく平田篤胤。本居宣長は国学の大成者。④高橋至時の子の景保である。至時は寛政暦を作成した。
- 解答番号38 正答は③です。①大久保利通は初代内務卿。初代工部卿は伊藤博文。②大阪紡績会社は渋沢栄一らが設置した民間会社。④金本位制の確立をめざしたが、実際には金銀複本位制であった。
- 解答番号39 正答は④です。①済南事件（1928年）は山東出兵時の国民革命軍と日本軍との軍事衝突。②西安事件（1936年）は張学良が蒋介石を監禁して停戦と抗日を求めた事件。③柳条湖事件（1931年）は満州事変の端緒となった事件である。
- 解答番号40 正答は②です。X正しい。Y誤り。労働三法は、日本国憲法の施行（1947年）に先立って制定されている。

## ■全体の採点講評

日本史の問題は、時代から見ると、原始・古代から大問1問、中世・近世から大問1問、近現代から大問1問を出題しています。大問1問のなかをA、Bと二つに分けて、異なる二つの時代の問題を出題していることもあります。Ⅳでは現代に関する問題も出題しています。分野から見ると、政治史、外交史、社会・経済史、文化史のいずれかを重ならないように出題しています。政治史と文化史を混ぜた問題を出題することもあります。全体としては基本的な知識を問うものが多いですが、年代を並べ替える問題、資料を用いる問題も出題しています。

今回の問題の場合、時代の観点からすると、原始・古代は弥生時代から飛鳥時代、中世は鎌倉時代、近世は田沼政治、近現代は明治初期と大正時代から出題しています。どこかの時代に偏るわけではなく、すべての時代を学習することを心がけてください。とくに、近現代はなかなか学習が進まないかもしれませんが、日本史が選択科目になっている知的財産学部も情報科学部データサイエンス学科も、近現代の学習をしっかりしていることを受験生に期待しています。

分野の観点からすると、外交史、政治史、文化史から出題しています。もしかしたら政治史を入念に学習する方が多いかもしれませんが、いずれかの分野に偏る出題はしていません。日本史が選択科目になっている知的財産学部も情報科学部も、大学に入学してからの学修内容は文化史に関わるものも多いです。文化史にも目を配ってください。

問題の種類という観点からすると、資料問題として、川柳の読解問題を出題しています。資料集をすべて学習することを期待しているわけではありません。資料集を用いて学習することで、闇雲に暗記するのではなく、その時代のリアルな動きを把握するという学習習慣が身につくことを期待しています。

時代も分野も問題の種類も幅広いですが、大学での学びにも重要な内容ですので、ただ暗記するのではなく、日本史の大きな流れを複眼的に学習してってください。